平成２５年度警察政策研究センターの活動概要一覧

平成25(2013)年

４月～　所長及び教授が東京大学大学院、一橋大学公共政策大学院、中央大学法科大学院、同大学総合政策学部、首都大学東京都市教養学部及び法政大学法学部などで講義を実施したほか、本庁各部局職員の講師派遣を斡旋するなど警察政策に関する研究の発展及び普及を図った。また、慶應義塾大学大学院法学研究科（市民生活の自由と安全研究会）、早稲田大学社会安全政策研究所及び警察政策学会犯罪予防法制研究部会（これからの安全・安心研究会）のそれぞれと共同研究を実施。

５月　25日　教授が日本刑法学会第91回大会（会場：中央大学多摩キャンパス）に出席。

５月　28日　（公財）公共政策調査会と共催でセミナー「反社会的勢力（総会屋・暴力団等）問題と企業の安全を考える」（講師：室城信之（警察庁組織犯罪対策部長）、成川毅（弁護士、日本弁護士連合会民事介入暴力対策委員会委員長）を開催（会場：グランドアーク半蔵門）。

６月　１日　教授が日本被害者学会第24回学術大会（会場：早稲田大学小野記念講堂）に出席。

６月　６日　警察政策学会犯罪予防法制研究部会の「これからの安全・安心研究会」第12回研究会において、「これからの安全・安心」のための犯罪対策の関する提言（「これからの安全・安心研究会」報告書）を取りまとめた。

６月24～28日　所長及び教授が台湾・新北市で開催されたアジア警察学会に出席し、所長が「我が国における総合的な犯罪対策と新たなアプローチ」と題して発表し、関係各国の研究者、実務家と意見交換を行った。

７月～　教授が昨年度に引き続き、国家公務員採用総合職試験（行政、政治・国際）の専門委員として試験問題の作成・検討に参加。

７月　３日　平成25年度警察政策学会総会・シンポジウム（「これからの安全・安心」～新時代の「世界一安全・安心な国」を目指して～）を後援し、シンポジウムでは所長がコーディネーターを努めた（会場：グランドアーク半蔵門）。

８月４～10日　教授がハンガリー・ブタペストで開催された国際警察幹部シンポジウムに出席し、「これまで見過ごされていた、閉じた「場」において弱者を狙った犯罪～これからの安全・安心のために」と題して日本の現状等を発表し、関係各国の研究者、実務家と意見交換を行った。

９月　26日　警察政策フォーラム「サイバー空間の脅威への対策における新たな展開～産学官連携への期待～」（基調講演：マリア・ヴェロ（National Cyber-Forengics and Traning Alliance CEO and President）、田中英彦（情報セキュリティ大学院大学学長）、近藤邦夫（日本電気株式会社執行役員））を開催（会場：グランドアーク半蔵門）。

10月～　ドイツ・フライブルク大学安全・社会センターとの間で締結した、学術交流に関する協定が発効。

11月19～25日　教授が米国・アトランタで開催された米国犯罪学会に出席し、学会のテーマ：「焦点の拡大～見過ごされてきた犯罪・人々・背景と政策アプローチ」について日本の現状等を発表し、関係各国の研究者、実務家と意見交換を行った。

12月　２日　社会安全フォーラム「高齢者犯罪の実態と対策」（基調講演：太田達也（慶應義塾大学法学部教授）、古川隆司（追手門学院大学社会学部准教授））を開催（会場：グランドアーク半蔵門）。

平成26（2014）年

１月　21日　懸賞論文（共催：（公財）公共政策調査会）「いじめ問題を考える」授賞式を実施（会場：グランドアーク半蔵門）

２月　27日　警察政策フォーラム「メディア社会における警察の情報発信～事件検挙等につながる市民との協働関係の構築に向けて～」（基調講演：エドワード・ハウリン（英国内務省警察活動透明化ユニット上席政策アドバイザー）、庄司昌彦（オープン・ナレッジ・ファウンデーション・ジャパン代表理事）、荒井崇史（追手門学院大学心理学部講師））を開催（会場：グランドアーク半蔵門）。